

新町小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上　：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
外国語教育：コミュニケーション能力や人と関わる力の育成に視点を当てた授業づくりの推進

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
前田　彩子	遠藤　史比古　川本　沙知

校長
林　哲史

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられたことに素直に取り組む。 ○まじめに課題に取り組む。 ●語彙が少ない。 ●読む・書く・話す経験が不足している。 ●聞いて考える力が十分に身につけていない。	読む・書く・話す・聞く力を身につけ、自信を持って活動に取り組むことができる。	・聞き方、話し方のスキルを提示する。 ・めあてを明確にする。 ・授業で読む・書く・話す時間を十分にとる。	・教室の黒板上に、聞き方、話し方スキルを掲示し、系統的で継続した指導に役立てている。 ・学習のめあてを立てるだけでなく、振り返りの時間も確保できるようにする。	・聞き方、話し方スキルを意識しながら、友達の意見に付け加えたり、考えを深めたりしながら発表する児童が増えてきた。 ・めあての振り返りの時間を確保することができ、今日の学習で身につけたことを言葉にできるようになってきた。 ・日記や手紙を書く機会を増やし、意欲的に取り組んだ。	・自分の考えが相手によく伝わるように文章を書くまでには至っていないので、書き方のモデルを示したり、型を作るなどして、パターンに沿って書くことができるようにする。 ・聞く力をさらに高められるように、スキルを意識させ継続的に取り組む。 ・聞き方、話し方スキルの見直しを行い、学年の実態に沿ったものにする。

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○友達や低学年の子どもに優しく、協力して取り組む。 ○あいさつができて、社交的。 ●自信がなく、自分の言葉で考えを伝えることが苦手。	課題に対して自ら考え、共に乗り越えていくことができる。	・スモールステップで取り組めるようにする。 ・少人数グループで伝え合う力を育成する。 ・相手意識を持って、考えたことや自分の意見を発表する場をつくる。 ・友達の意見に対する感想や意見をもち、発表して考えを深められるようにする。	・学級会などで話し合いの経験を積むことで、意見を伝え合うことに慣れてきている。 ・異学年交流で、発表の機会をもてるようにする。 ・話の要旨を聞き取り、いつもめあてに立ち返って話の本筋からそれないように意識させたい。	・少人数で話し合う機会を持つことで、自分の意見をしっかりと持ち、相手に伝えることができた。 ・話すことが苦手な児童も、サポートしてもらいながら話し合いを進めることができた。 ・伝える相手を設定し、意識して伝えるようにしたが、異学年交流での発表の場が少なかった。	・縦割り班活動を充実させ、異学年が関わる機会を増やす。 ・学習の中でも、低、中、高学年で交流するような機会を設定する。 ・肯定的に相手の考えを受け止め、根拠を示しながら自分の考えを発表できるようにする。

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分のすべきことに、まじめに一生懸命取り組む。 ●失敗をするとやる気をなくし、決められたこと以上をやってみようとしなない。 ●学習のルールや基本的な生活習慣（時間を守るなど）ができていない。	基本的な生活習慣と学習態度を身につけ、自分で課題を見つけて挑戦する。	・学習準備を整え、チャイムと同時に学習を始めるように徹底する。 ・達成できる目標を積み重ねて自己有用感を高める。(ポイントなどで可視化する) ・学級の中で友達の良さを認め合い、高め合う学級づくりをする。 ・苦手なことにも友達と一緒に挑戦できる場を設定し、がんばった過程を褒める。	・新町メーターを活用し、「やる気いっぱい、せいいっぱい、笑顔いっぱい」ががんばる友達の良さを学校全体で共有できている。 ・朝会や放送で、新町メーターに書いた友達の良さを紹介したり、目標達成までのポイントを知らせたりして意欲を持って取り組めるようにする。 ・行事などの機会を通して心が伝わる挨拶や礼儀などについても指導し、学校みんなで一緒に頑張る雰囲気作りをする。	・新町メーターで互いの行動や成果を認め合い、みんなが向上心を持って、より良い学校を目指すことができた。 ・定期的に一貫した指導を全教員で行うことで、児童に決まりを守ろうとする意識が生まれた。 ・自分で課題を見つけて主体的に自主学習に取り組むことは、できていない。	・新町メーターで、より直接、良さを伝え合えるような提示方法や賞賛の場を工夫する。 ・年度末に代表委員会で、学校のきまりについて達成できたことや課題について振り返りをし、来年度も児童が主体的に関わることができるようにする。 ・学習した内容から、自分で課題を見つけて、要点をまとめたり、類似問題に取り組んだりできるよう、自主学習を充実させる。

令和6年度 学力向上ロードマップ

